

第1弾：日比谷サイクル（令和5年9月4日取材）

地域に根差す町の自転車屋さんです！中古自転車や中古部品等の販売等、リユースにも積極的に取り組まれています。

【店舗名】 日比谷サイクル

【住所】 足立区梅島三丁目4番13号

【電話】 03-3886-6815

【Instagram】 <https://www.instagram.com/hibiyacycle/?hl=ja>



100年以上の歴史を持つ老舗店！

日比谷サイクルの創業は1908年にさかのぼり、その歴史は「貸し自転車・修繕屋」から始まります。現在は、三代目・日比谷次男（つぎお）さんと四代目・浩太（こうた）さんの親子二代で経営されています。

浩太さんは、2018 年から経営に携わるようになり、父の次男さんから自転車整備の技術やノウハウを日々学ばれています。また、Instagram での情報発信も浩太さんが担当され、商品の入荷情報等を投稿していますので、上記の店舗情報から是非チェックしてみてくださいね。



廃棄するのはもったいない！～中古自転車や中古物品の販売～

足立区では区が撤去した自転車のうち、所有者の引き取りがなかったものを区内の自転車屋に割り振っています。日比谷サイクルではそれを清掃・整備し、リサイクル自転車として販売しています。また、廃棄となった自転車からまだ使えるものを取っておき、中古自転車に活用したり、販売したりと、モノを無駄にしない工夫をしています。

「利益を優先する大手だとあまりやっていないので、ここは個人商店の強みではないか。お客様の使い方や予算に合わせて、新品だけでなく中古品を勧める等、柔軟な対応を心掛けています。」と次男さんは話します。



使えるものは長く使ってほしい！～自転車を長く乗り続けるコツ～

「空気を入れる、油をさすといった基本的なメンテナンスをする」。これがずばり1台の自転車を長く乗り続けるためのコツとのこと。パンクの原因の約半分が空気入れを怠ったことによるものという事実には驚かされました。また、多少値が張っても耐久性の高い自転車を選んだ方が、結果的には長く乗ることができるようです。



(※左から次男さん・浩太さん)

取材後記

「自転車の修理を承った際に、預かり修理だとお客様を歩いて帰らせることになるので、なるべくその場で直してあげたい」という言葉が印象的で、お客様ファーストでお仕事をされていていらっしゃるのが伝わってきました。次男さんも浩太さんも気さくで話しやすい方たちなので、親身になって相談に乗ってくれるはずです！

取材を通じて感じたことは、「壊れたら捨てる」という選択をすぐにするのではなく、修理する・中古物品を用いて寿命を延ばす等の選択肢もあるということです。また、合わせて、モノを長く使うには、日々のメンテナンスも大切なんだなぁと感じました。皆さまも日常の中で「モノを大切に使う」ことを意識してみませんか？